

平成26年度白井市健康づくり推進協議会 会議録（概要）

1. 日 時 平成26年10月6日（月）14時から15時30分
2. 会 場 保健福祉センター2階 研修室
3. 出席者 島田会長、吉岡副会長、石橋委員、石田委員、河本委員、北島委員、菅森委員、東城委員、金子委員、川又委員
4. 欠席者 小笹委員
5. 事務局 黒澤課長、秋谷副主幹、寺田副主幹、中島主査、矢野幸主任保健師、宇田川主任栄養士、三笠主任保健師、石田主任歯科衛生士、矢野しのぶ保健師
6. 傍聴者 0人
7. 次 第
 - （1）開 会
 - （2）市長あいさつ
 - （3）会長あいさつ
 - （4）議 題
 - ①平成25年度しろい健康プラン事業の進捗状況について
 - ②白井市民の「健康」に関するアンケート調査（案）について
 - ア 白井市民の「健康」に関するアンケート調査票（案）について
 - イ 小学5年・中学1年生の「健康」に関するアンケート調査票（案）について
 - （5）その他
 - ① （仮称）白井市歯科口腔保健の推進に関する条例（案）について（報告）
 - ② 白井市新型インフルエンザ等対策行動計画（案）について（報告）

8. 議事概要

※会議運営の説明

白井市審議会等の会議の公開に関する指針の規定に基づき進行し、次の4点について承認を得る。

- 1 会議は公開が原則で、議題の全てについて公開する。
- 2 会議の開催については、事前に公開をしている。
- 3 先着順で5名まで傍聴することができる。
- 4 審議概要を作成し、公表する。但し、発言者の氏名は伏せて作成する。正確を期するために、録音を行う。

※白井市附属機関条例第6条第2項の規定により、委員の出席数が過半数であるため、会議が成立することを報告。

※配布資料の確認

議題①平成25年度しろい健康プラン事業の進捗状況について

事務局より、「平成25年度しろい健康プラン事業の進捗状況」を説明。

(質疑応答等)

【質 問】学校の給食の時にしか満足な食事が食べられないというのを、何かで読んだことがあり、驚いたことがある。そういう事例はないか。

【事務局】市内では、朝食を食べる生徒は増えてきている。但し、その内容までは分からないので、そういった点は注視していきたい。

【質 問】アンケート調査は、(案)と書いてあるが実施したのか。

【事務局】「平成 25 年度しろい健康プラン事業の進捗状況」でアンケート調査と書いてあるものは、市民のアンケートから数値を導き出したいと考えている。

小中学生については、現状では、前回の計画時に児童・生徒のアンケートは取っていない。そのため、今回の資料における児童・生徒の数値は、別のアンケートから引用したものである。

【質 問】小学 5 年生、中学 1 年生を対象とする理由はなぜか。また、市内には小学校が 9 校、中学校が 5 校あるが、抽出で行うのか。

【事務局】小学 5 年生、中学 1 年生については議題 2 で説明する。

～議題①についての承認を得る～

議題②白井市民の「健康」に関するアンケート調査(案)について

ア 白井市民の「健康」に関するアンケート調査票(案)について

【事務局】「第 2 次しろい健康プラン策定方針」、「第 2 次しろい健康プラン策定スケジュール」を説明。その際に、小学 5 年生、中学 1 年生のアンケート調査について全員を対象とすること、また、対象学年は小児生活習慣病の検査を行っている学年であることを勘案して設定した旨を説明。

事務局より、「白井市民の「健康」に関するアンケート調査票(案)」について、前回の調査から新たに設けた設問やめざそう値に関連する設問を中心に説明。

(質疑応答等)

【意 見】相当新しいものを取り入れ、努力していると感じた。

【質 問】8 ページの問 25 に「農作物を購入するときに、なるべく千葉県産または白井市産を選ぶようにしていますか。」という設問がある。この趣旨は何か。

【事務局】食育の関係で、地産地消を意識した設問である。

【質 問】健康と地産地消の関係はどういった考え方があるのか。

【事務局】地産地消は、食育推進計画との関係になる。なお、千葉県では、“地”の字を千葉県の“千”を用いて千産千消と表している。

【質 問】食育という言葉は、住民の方にとって一般的か。

【事務局】食育については、6 ページに説明を載せている。

【意見】 知育、徳育、体育の一番大元のものとして食育がある。食育を基礎として、3つが成り立つので、その考え方を追加するとよい。

【意見】 食育というのは、特に母親の食生活が大事だと思う。母親の食に対する教育が大切だと思う。

また、市の給食については、バランスの取れた食事だと感銘を受けている。

【質問】 この会議を通過すると、アンケート（案）は決定事項となるのか。これまでの意見で訂正はされるのか。

【事務局】 これまで策定部会、策定委員会にて内容を検討し、今回の会議にかけさせていただいている。ここで精査をしていただき、決定し、アンケートを実施したいと考えている。

なお、小中学生向けについては、校長会とも協議をしており、この会議で提案をいただいた上で、再度校長会と調整をさせていただきたい。

～議題②アについての承認を得る～

議題②イ 小学5年・中学1年生の「健康」に関するアンケート調査票（案）について

【事務局】 「小学5年・中学1年生の「健康」に関するアンケート調査票（案）」について説明。その際に、校長会より、身長、体重、自分の体型の認識、一緒に住んでいる人の設問は割愛してほしいということ、家でたばこを吸う人の設問の意図が分かりづらいなどの意見が出されている点、また、全体の設問の量についても減らせないかという意見もあることを報告。

（質疑応答等）

【意見】 今は、多様な子があり、その子たちに厳しい設問があるというのが、校長会から出た意見の柱である。例えば、家族構成が複雑な家庭があったり、体型のことを気にする子もいる。各家庭に送られてきて個人として回答するのであればよいが、全生徒に配って回答をさせるので、生徒たちが回答しづらいのではないかとある点がある。

具体的には、自分の体型の認識へ○をつけた時に、周りから何か言われると、耐性が低いので気にしてしまう生徒がいたり、プライバシーに触れてしまうということもありえる。

【意見】 生徒自身は書けると思うが、内容から親の耳に入った場合に、市に苦情が来ることもありえると感じた。

【質問】 問1で身長や体重をたずねているが、現在、学校ではどう測定しているのか。

【委員回答】 基本的には6月までに年1回は測定を実施している。

【質問】 データとしてとる際に、学校のデータを参考にすればよいかと考えた。

【事務局】 設問とした意図は、実際の体重と自分の体型の意識の関係をみようと考えた。ほかの調査から出せるデータもあるが、どのような生活習慣なのかなどを関連

づけたクロス集計を出そうとする場合には、設問とする必要がある。

しかし、現在の身長や体重は回答できないと思うので、6月に実施した結果を書いてもらうように枠を設けた。ただ、個人的な問題と設問の量についてのご意見をいただいているので、現在検討しているところである。

【質 問】 今回の設問は、市独自のものなのか。

【事務局】 参考にさせていただいたものはあるが、オリジナルである。

【質 問】 他の都道府県や国でも設問はあるのか。

【事務局】 参考にしているものもあるが、これまで職員から出てきた案もあるし、健康課だけでない他部署の職員での意見もいただいて、精査して今の形となっている。他の都道府県や国でそっくり同じものがあるかという点、それはない。

【質 問】 先生方には、目的や狙いを伝えているのか。

【事務局】 小学校5年生、中学校1年生というのは育ちざかりである。その年代で、自分や家族の体型などを認識しておくことは大事である。間違った方向に進んで5～6年たってしまうと体ができあがってしまい、こんなはずではなかったという子もいる。

【意 見】 健康づくり推進協議会の一つの使命かもしれない。プライバシーに触れてしまうという点もあると思うが、何とかうまく情報を得られるようにしてもらえればと思う。

【意 見】 市も健康で元気なまちづくりを推進するのであるから、やはり親としても必要だと考える。

【事務局】 保健師が現場を回り、大人の健診などをやっているが、なかなか食事や生活習慣を変える行動変容に結びつけるのが難しいということに直面している。そのために、小さい頃からの正しい生活習慣を身につけることが大切で、その実態を把握するのが今回の大きな目的である。

【事務局】 今後、校長先生と調整させていただき、学校側の考え方を尊重して実施ということによろしいか。

【意 見】 校長会と事務局の折衝の結果を、会長に伝え承認を受ければよい。

【事務局】 そのような形で進めさせていただく。

～議題②イについての承認を得る～

その他① （仮称）白井市歯科口腔保健の推進に関する条例（案）について（報告）

② 白井市新型インフルエンザ等対策行動計画（案）について（報告）

【事務局】 「（仮称）白井市歯科口腔保健の推進に関する条例（素案）」と「白井市新型インフルエンザ等対策行動計画（素案）」について、概要とパブリックコメントの実施結果を報告。また、今後のスケジュールを説明。

（質疑応答等）

【意 見】：両方ともパブリックコメントの意見がないということは、分からないからかも

しれない。

【事務局】 今回のパブリックコメント実施の理由の一つとしては、条例や計画があるという周知も含め、関心を持ってもらおうと思っていた。

【意見】 関心を持ってもらおうとしたということである。関心が広がればよいので、周知についてはこれからの問題だと思う。

【意見】 インフルエンザに対する一般の方の考え方は、予防接種をすれば間に合うなどと思われがちである。しかし、サーズや鳥型の強毒性のインフルエンザというのは、死亡率はエボラ出血熱以上である。有効な抗ウイルス薬は無いので、そういうものが流行してしまった場合にどうするかということで、計画の必要性があったと思う。

【質問】 広報しろいには載せているのか。

【事務局】 広報しろいにも、ホームページにも掲載している。

【意見】 本当に未知のウイルスなので、不安を煽るよりは、市のほうで体制をしっかり整えようと計画を立てていると思う。かかった場合には死亡率は高くなるが、かかるピークを少しでも遅らせ、遅らせることで体制を整える意図があると思う。

この計画の後で、どこで集団接種を行うかなど、具体的なマニュアルというか、実働面での準備が必要である。

【質問】 市では、デング熱への感染者はいなかったのか。

【事務局】 千葉県内で7人の感染が発生したが、幸いにも市民にはいなかった。

【質問】 「白井市新型インフルエンザ等対策行動計画（素案）」の45ページの（6）の（ウ）に、訪問診療が入っているが、体制が無ければその言葉は削除したほうがよいのではないかと。市として行うのは難しいのではないかと。

【意見】 市内医療機関の中には、かかりつけの患者の方の訪問診療をしている場合もあると思っている。

【事務局】 国や県に準拠して同じように策定している。市として直接、訪問診療をしていないが削るとするのは難しい。検討させていただきたい。

【意見】 「（仮称）白井市歯科口腔保健の推進に関する条例（素案）」については、特にないが、ぜひご理解をいただきたい。

【意見】 幼少の頃から鍛える、体格ではなく体力や免疫力を高める施策をすることが大事だと考える。そういところから、家で、市で、県・国で行うことが大切である。

【事務局】 10月末ぐらいにアンケート調査を実施し、12月末ぐらいには集計を行う。

3月の末ぐらいには報告書ができあがってくるので、その頃に健康づくり推進協議会を開催したいと考えている。

平成26年度の健康づくり推進協議会の専門委員として、千葉大学看護学部の石丸美奈准教授に助言を頂くこととしている。石丸先生は平成23年4月より千葉大学に勤務され、千葉県の健康増進計画である「健康ちば21」の作業部会委

員を委嘱されていた。次回の会議に出席いただけるよう調整を行う。

以上